

県人事委勧告に向けた要請事項の実現へ

「大型ハガキ署名」やり切ろう 署名集約数が大きなカギ

管理職、未加入者、臨時・非常勤職員の方にも声がけを

県地方公務員共闘会議（議長・砂金良昭岩教組委員長）は8月24日、熊谷隆司人事委員長あての要請書を提出し、2015年の人事委員会勧告に向けた取り組みをスタートさせた。

要請書提出にあたり、佐藤人事委員会事務局局長は「民間調査結果に基づき分析を始めたばかり」と答え、要請については「人事委員会に報告する」と述べるに

現在、地公共闘会議では要請事項の実現に向け、熊谷人事委員長あての『大型ハガキ署名』を取り組んでいる。前回の「給与制度の総合的見直し反対」の要請署名では1万4千筆を超過する署名を集約した。引き続き改善を求める多くの声を集約することが給与水準を改善させ、給与制度の総合的



向こう2年間の運動方針を決めた自治労第88回定期大会

開会冒頭、中央本部の氏家中央執行委員長は「国人勸は24年ぶりの連年引き上げとなったが、ここ10年でみると7%以上の水準引き下げとなっている。自治労組織率もピーク時の75%まで下がってきており、第4次組織強化計画を今大会で議論いただく。安倍政権の暴走を止めるためにも、自治労としても各種行動・各

自治労第88回定期大会 in 金沢市 第4次組織強化計画等を議論

新委員長に川本さん（北海道）を選出

自治体選挙・来年の参院選に最大限結集しよう」とあいさつした。その後、社民党吉田党首などが連帯のあいさつを述べた。

大会質疑では、国人勸が官民較差を地域手当に重点配分したことへの問題を指摘する発言のほか、安本法制への反対闘争強化、組織強化に向けた専従者交付金等の継続を求める発言が相

見直しを阻止することにつながる。大型ハガキの集約は9月18日となっており、9月29日に予定される人事委員会事務局長交渉時に集約した大型ハガキを手交していくことになっている。

各支部・職場において最大限の取り組みをお願いする。

性的な人員不足の解消に至って心身ともに疲弊している。職員フロンティアが重要だ」と訴え、被災3県を対象とした特別交付金の

各県からの方針補強発言を踏まえ、全議案とも賛成多数で可決され、向こう2年間の運動方針が決定した。

なお、今大会で氏家委員長が退任し、新たに、川本新委員長（北海道・中川町職労出身）ほか、新役員が選出された。

「平和にするには」という言葉に違和感を覚えた▼今の日本は「平和」ではないのだろうか。先の大戦の反省の上に、今の日本がある。「戦争をしない」と明確にうたった憲法により、70年間、平和を維持してきた。武力での解決を放棄し、話し合いで解決する道を選択してきたから今の平和を維持できているのではないだろうか▼先日、私の母も「野党は反対ばかりしている。対案を考えてから反対すればいいのに」と言っていた。私は、「反対すること自体が『今のままでいい』という意志表示であり、対案である」と思う。安保関連法案が本当に「平和にする」ことなのだろうか▼政府が多くの反対の声を無視し強行採決してまで安保関連法案の成立を急ぐ真の狙いを見極め、平和憲法を護るに安倍政権にNOを突き付けよう。

人勸期の主な要請課題

- ◆月例給・一時金の改善
- ◆「給与制度の総合的見直し」実施阻止
- ◆高齢層の職員に見合った給与配分と勤務意欲の維持確保
- ◆自己負担軽減のための手当改善（通勤・単身赴任等）
- ◆恒常的超過勤務の縮減、不払い残業の一扫
- ◆次世代育成支援のための休暇制度の充実
- ◆雇用と年金の接続（定年延長・再任用）の確立
- ◆労働安全衛生体制の充実
- ◆ハラスメント対策、特にパワハラ防止対策の実施

岩手県人事委員会
委員長 熊谷隆司 様

岩手県地方公務員共闘会議
議長 砂金良昭 様

要 請

日頃、職員の労働条件の改善に御尽力されている貴職に対し敬意を表します。執行部の推進に反対している職員の生活保護と勤務意欲の向上を図る観点から、貴委員会におかれましては下記の事項を踏まえたいとお願いいたします。

記

- 2015年度の給与改定における公民較差の配分については、生活水準の維持確保のために、物価上昇や消費増税などの影響による負担が増加している実態を十分踏まえるとともに、要職職員が地域経済や県日本大震災からの経済復興にも影響があることを考慮し、月例給及び一時金の改善を行うこと。
- 昨年人事院が勧告した「給与制度の総合的見直し」について、地方の給与水準を切り下げたものであり、容認できるものではないこと、また、見直しの根拠となる公民較差について、昨年についても民間給与と調査に基づき公民較差について改定が行われたことにより、公民均等が図られていることから、人事院の勧告に追随することをお断りいたします。
- 高齢層職員の給与について、高齢層の職責・職務実態に見合った配分とするとともに、勤務意欲の維持に配慮した給与改定とすること。
- すべての在職者が定年まで昇給が可能なよう、号給を延長すること。特に、最晩号給者の解消と教育職員など給付が異なる職員の対応を早急に実施すること。
- 可処分所得が減少する中で、本県における特殊事情や地域・職場の実情を踏まえつつ、職員の自己負担の解消につながる手当の改善を行うこと。特に通勤や住居費、専任赴任などで、勤務のための自己負担が増大している実態があることから、手当の改善を行い、負担軽減を図ること。
- フレックスタイム制については、後日・復興業務に取り組み職員の実情を十分考慮し、超過勤務の縮減、不払い残業の一扫を前提とした制度とし、職種による不平等が生じないよう、実態にあわせて制度として慎重に検討すること。
- 地方公務員の標準的給与の確立に向けた取り組みを行うこと。そのため、全国人事委員会連合会の体制・機能の強化や人事委員会相互の連携方策等について、職員組合との意見交換を進めること。
- 次世代育成支援のため、子育て支援や少子化対策制度の充実をはかること。学校行事にかかる特別休暇制度の新設や不妊治療に係る休暇日数の増大など、子育て世代の実態を踏まえ、休暇制度の改善に努めること。
- 恒常的超過勤務を縮減することを目的に、改正労働基準法で努力義務とされた1か月の時間外勤務45時間超60時間までの超過勤務手当の引上げを促すことを行うこと。また、「不払い残業」の一扫、超過勤務縮減の員休確保すること。
- 雇用と年金の確実な接続の形態として「65歳までの段階的定年延長」を見据えながら、当面の間、希望者委員の再任用を実現するとともに、退職給与の8割水準を確保すること。
- 非常勤・臨時採用職員の処遇改善、安定雇用に関して、職員組合との交渉・協議と同意に基づき、人事委員会として積極的な対応を行うこと。
- 職員が安心して働き続けられるよう、健康管理体制の徹底と労働安全衛生体制の拡充を図るとともに、人事委員会の労働基準監督権限を適正に発揮すること。
- 実効あるハラスメント対策を実施すること。特に「パワハラ」の防止策を早期に示し、実効ある対応策を早急に措置すること。

【職場の一言要求】

里組名	分會名
氏 名	氏 名

盛岡市内丸10番1号 県庁内
岩手県人事委員会

熊谷隆司 様

《職場の一言要求》
人事委員会あての職場要求を自由に記載して下さい。



月2回刊=1444号
2015年9月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸10番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジョー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

賃貸だから
カンケーナイ?

火災共済・自然災害共済は家財だけでも加入でき、「再取得価額」で保障されるってご存じでしたか?
例えば落雷でパソコンが壊れても安心ってわけですよ。
自然災害共済に大型タイプが登場!
じちろの火災共済・自然災害共済

自治労共済本部
●詳しくは所属する組合まで

自治労県本部 第47回定期大会

■日 時：2015年9月26日（土）
午前10時～午後5時30分

■場 所：「自治労県本部 2階大会議室」

※各支部は代議員の選出をお願いします。
(県庁・盛岡支部は各2人、他の支部は各1人)
(中央執行委員会5人、現業評議会、青年婦人部は各1人の選出となります)

第五世代

安閑関連法案に反対の行動が全国各地で盛んであるが、法案に賛成している人もいる。新聞には「反対派の人は『平和がいい』というだけで、平和にするにはどうすればいいか考えていない」という賛成派の女性の声がかつていた。これを見て、「平和にするには」という言葉に違和感を覚えた▼今の日本は「平和」ではないのだろうか。先の大戦の反省の上に、今の日本がある。「戦争をしない」と明確にうたった憲法により、70年間、平和を維持してきた。武力での解決を放棄し、話し合いで解決する道を選択してきたから今の平和を維持できているのではないだろうか▼先日、私の母も「野党は反対ばかりしている。対案を考えてから反対すればいいのに」と言っていた。私は、「反対すること自体が『今のままでいい』という意志表示であり、対案である」と思う。安保関連法案が本当に「平和にする」ことなのだろうか▼政府が多くの反対の声を無視し強行採決してまで安保関連法案の成立を急ぐ真の狙いを見極め、平和憲法を護るに安倍政権にNOを突き付けよう。

被爆70周年原水禁世大会 長崎大会に参加して

「安全で平和な暮らし」を次世代に

〔参加者の感想〕

県庁支部(広聴広報) 佐々木琢磨・知翔

終戦から70年、そして広島・長崎に原爆が投下されて70年がたった今年、8月7日から9日まで開催された原水爆禁止世界大会に参加し、改めて平和と原水爆のない世界を皆で守っていかねばならないと実感した。

8月7日に開催された開会総会では、長崎大会実行委員長などのあいさつがあり、長崎に投下された原爆の悲惨さとその後の苦しみ、そして唯一の被爆国である日本から、原水爆禁止を訴えることの必要性を改めて考えさせられた。特別企画として実施され

た講談師の「神田香織」氏の「福島への祈り」では、東日本大震災津波で発生した福島原発事故の影響により、不自由な生活を余儀なくされた福島の人たちの思い、それに対し、国が原発の稼働をやめようとしないう憤りなどを講談の中で話し、東日本大震災津波で大きな被害を受けた東北の中でも原爆被害のある福島の方々の苦悩も改めて実感した。

この分科会では、70年前の原爆投下の様子を映像で見せ、その様子を語っていたくもでしたが、改めて長崎に投下された原爆の威力の大きさ、それで亡くなった方々の多さを実感したことや広島に投下された原爆と長崎に投下された原爆の違いを説明され、どちら

も大きな被害に変わりないことを感じ、このような悲惨な出来事は二度と繰り返すべきでないと思えた。最終日3日目の8月9日は70年前に長崎原爆が投下された日。そんな8月9日に長崎にいて、様々な思いを持ちながら、閉会式にのぞんだ。

閉会総会では、安倍内閣が進めている原発再稼働に反対し、安全で平和な暮らしを今後の子ども達のために残していこうという皆の意思で結束が図られて、集会は閉会した。

その後、集会参加者で平和公園まで行進し、原爆が投下された11時02分に被爆中心地にて黙祷を捧げ、今回の原水爆禁止世界大会長崎大会が終了した。

この大会の合間には、長崎原爆資料館を観覧し、原爆が投下された当時の長崎市内の悲惨さ、被爆した方々のその後の生活の苦しみ、そして、全世界にまだ原子力爆弾が存在していることの恐ろしさなど、今まで知っていたことも含めて改めて原爆の恐怖を感じる

ことができ、世界から原爆をなくすことが、唯一の被爆国日本、そして日本人に課せられた責任ではないかと考えさせられた。



岩手から参加した高校生のみんなども交流



閉会集会後の平和公園までデモ行進



勝利の万歳で当選を祝う小西さん(写真中央)



堂々の勝利! 喜びの佐藤ケイ子さん

激戦となった盛岡選挙区で、小西和子さんは序盤から苦戦を報じられるなど厳しいたたかいを強いられましたが、終盤での追い上げにより3期目を見事上位での当選で飾ることができた。県

藤ケイ子、久保孝喜(北上)、千葉すすむ(一関)の5候補は全力で激戦をたたき抜き、4候補が当選を勝ち取った。(結果は別記のとおり)



見事当選の千葉進さん



3期目に向けた決意を述べる木村さん

推薦4候補の当選を勝ち取る

真の地方自治確立へ協力関係を維持

県議選、この間のご協力・ご支援に感謝

9月6日投票で行われた県議会議員選挙は、県職

岡、木村幸弘(花巻)、佐

藤ケイ子、久保孝喜(北上)、千葉すすむ(一関)の5候補は全力で激戦をたたき抜き、4候補が当選を勝ち取った。(結果は別記のとおり)

【2015県議会議員選挙結果】

当選	小西和子(盛岡選挙区)	10,739票
当選	木村幸弘(花巻選挙区)	9,954票
当選	佐藤ケイ子(北上選挙区)	8,954票
次点	久保孝喜(北上選挙区)	7,357票
当選	千葉進(一関選挙区)	9,167票

職労は今後、当選議員との協力関係を維持しながら、勤務・労働条件の改善や安保法制関連法案の阻止、福祉の充実など、真の地方自治確立を求める取り組みについて強化を図っていく。組合員をはじめ、ご支援とご協力をいただいた多くの職員の方々に感謝申し上げます。

「地震」への保障も
自然災害共済に
ついているんだって!
起きる前の備えに...

自然災害共済

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部 全日本自治労連労働者共済生活協同組合

火災共済に付帯してのご契約となります。詳しくは組合までお問い合わせください。